

カードの種類



絵札

読み札 (出題カード)

順位カード



出題の種類です。↓
赤(アカのコース):「ポケモンの名前」
青(アオのコース):「ポケモンの特徴」
黄(キいろのコース):「ポケモンの分類」
紫(むらさきのコース):「ポケモンのワザ名」



読み札は、「ピカチュウ」が「ウチカピ」のように逆読みになっています(小さな「ユ」など発音できない場合は、大きな文字として発音してください)。
 出題者以外は、その言葉を聞いて頭の中で言葉を逆に変換して、絵札を取ります。(出題者は、場のカードを取れません)

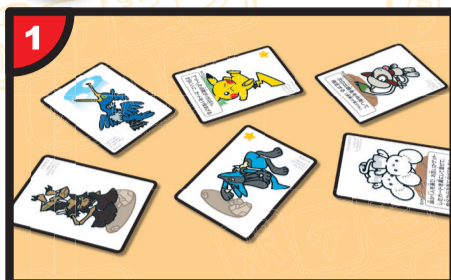


出題者は、ジャッジ(判定者)になって正解か不正解かを言います。出題カードに対象のポケモンの絵がありますので、確認してください(絵札のオモテにも小さく解答が書いてありますので、取り手も確認できます)。



お手つきをすると、そのとき出題されているポケモンは取れません(次のお題になれば、復活できます)。全員お手つきなら、そのカードは出題者がゲットできます(出題者は、次の人に代わります)。

あかの「ポケモン名」コースの遊びかた



「絵札」と「読み札(出題カード)」と「順位カード」を分けておきます。絵札全部を普通のカルタのようにテーブルなどの場に広げて置きます(カードは重ならないように)。



ジャンケンなどで最初の出題者を決めます。最初の出題者は、「読み札」を裏にして山札にして手に持ち、切ります。いちばん上のカードを自分だけ見て、出題します。初めてゲームを遊ぶときは、練習として「あかのコース(ポケモン名)」だけを読んで遊んでください。(他の色の出題は読まない)

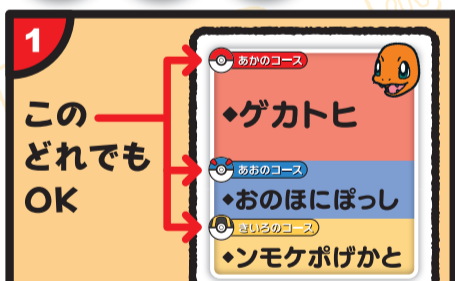


効果が付いたカードを取った人は、その指示に従います(初めてゲームを遊ぶときは、カードの効果はなしのほうがゲームがわかりやすく簡単になります。もちろん、最初から「効果あり」でも、かまいません)。



取った絵札が得点になります。ゲットしたカードは、自分の前にオモテにして重ねて置いておきます。カードは1枚1点ですが、「★」がついたカードは、2点。「★」がついたカードは、3点です。

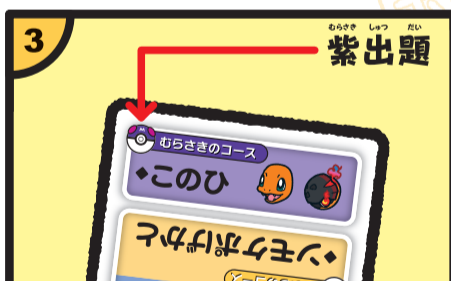
あか・あお・きいろのコースの遊びかた



さて、次のゲームからが本番ですよ。「2回戦制ゲーム」をやってみましょう(新たにジャンケンをするか、前回勝った人からスタートします)。今度は、出題者は「出題カード」の上の3つ(赤青黄)のどの出題コースを読んでもOKです。出題者は、コースを選んで「赤のコースをやりませう」などと、みんなに言ってください。



2回戦制ゲームでは、「順位カード」を使います。ゲットしたカードの合計得点が多い順に「順位カード」を配ります(同点ならジャンケンで決めてください)。(1回目は「1回戦」の順位カードを配り、2回目は「2回戦」の順位カードを配って、順位得点の総合点で勝ち負けを決めます)



「ワザ名(紫)」の出題で遊びたい場合は、別ルールになります(詳しいルールは、紫の出題ルールを読んでください)。

順位カードについて

- ゲームを1回戦だけ行う場合は、順位カードは不要です。ゲーム終了時点で持ち札の合計得点が高い人が、勝利となります(どの色のコースを使うかは、ゲーム開始前に決めておきましょう)。
- ゲームを2回戦で行う場合、1回戦ごとに順位カードが配られて、1回戦と2回戦でもらった順位カードの合計得点で勝ち負けが決まります。



※画像はイメージです。

むらさきの「ワザ名」コースの遊びかた



紫の「ワザ名」で遊ぶときは、他の色(赤青黄)の出題とは混ざられません。複数のポケモンが対象になることがあります。なので、赤青黄の出題とはルールが違います。



紫の「ワザ名」の出題は、出題者が最初に対象のポケモンが何匹いるかを言います(プレイヤーが上級者なら言わなくてもいいです)。複数匹いる場合、最初に取ったカードのみゲットできます(あとの残りのカードは、場に戻してまた同じワザ名が出たときに取ってください)。



出題者は、ジャッジ(判定者)になって正解か不正解かを言います。出題カードに対象のポケモンの絵がありますので、確認してください(絵札のオモテにも小さく解答が書いてありますので、取り手も確認できます)。



最後の絵札カード1枚は取れません。取った絵札カードの合計得点が高い人が、勝ちです。(「2回戦制ゲーム」をしているなら、「順位カード」を配り順位得点にします)

カードの説明

ゲットしたカードは1枚1点ですが、黄色の★がついたカードは1枚2点。ピンクの★がついたカードは1枚3点です。



ゲットした点数がいちばん少ない人に、カードを1枚あげる

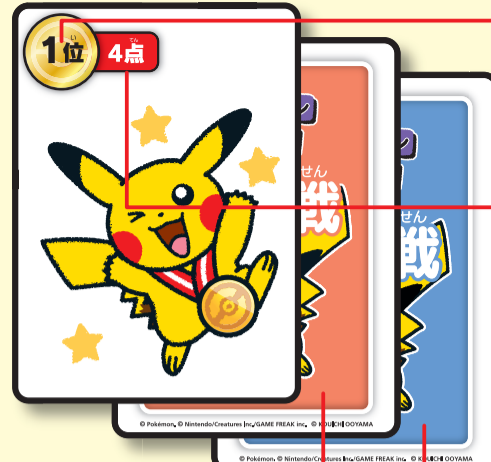
絵札



読み札(出題カード)

出題には赤青黄の3つのコースがあります。答えのポケモンのアイコンが右上にあるので、取ったカードが正解かを出題者はチェックしてください。

紫の出題には複数の答えがある場合があります。(この例では2匹) 対象のポケモンのアイコンがあるので、取ったカードが正解かを出題者はチェックしてください。



順位カード

一回戦目のゲームの順位で配ります。同点だった場合は、ジャンケンで決めてください。

一回戦目と二回戦目のこの得点を足して、「総合得点」にして勝ち負けを決めてください。

2回戦制ゲームで遊ぶ場合は、この「順位カード」を使います。一回戦目は赤いカードを、二回戦目は青いカードを使ってください。

効果がついたカードの説明

コイキング
きらいせびれ
まかなポケモン
はねる

びちびち
びちびち飛び跳ねながら隣の人と場所替えをする

●コイキング(びちびち)
場所替えは、自分の右隣か左隣かを選べます。(どっちが有利か、考えてみましょう)

ケロマツ
くびにあわ
あわがえるポケモン
あざでっぼう

なかまをよぶ
誰かがゲットした「ウウ」か「ゼニガメ」をもらう

●ケロマツ(なかまをよぶ)
誰も「ウウ」や「ゼニガメ」を持っていない場合は、もらえません。(2匹両方はもらえません)

ドラバルト
ツノにドラメシヤ
スナリスポケモン
ダブルアタック

こっそりこうかん
誰か1人と、ゲットしたカードを1枚ランダムに交換する

●ドラバルト(こっそりこうかん)
誰か1人を指定する。交換するカードは、ババ抜きのようにお互いに裏からランダムに取る。(ほかの人が誰もカードを持っていない場合は、交換はない)

ピカチュウ
おびせのしっぽ
おびせポケモン
おんきょく

やさしさ
ゲットした点数がいちばん少ない人に、カードを1枚あげる

●ピカチュウ(やさしさ)
自分の得点がいちばん低いなら、カードはそのままです。(いちばん低い人が何人かいる場合は、ジャンケンで決めてください)

パチリス
ジャンボなっしほ
でんきりすのり
でんきょく

かくす
裏のカード1枚を裏返す

●パチリス(かくす)
裏になったカードは、誰でも取れます。(お手つきに注意)

カビゴン
よくねむる
いぬむのりポケモン
おせんぼう

うたたね
あなたは、次の回1回休み(寝たふりをして出題者にもなれない)

●カビゴン(うたたね)
このカードを取ったあなたは、次の回カードを取れない(次の回が出題者なら、出題役を飛ばされて、カードも取れない)。テーブルなどに伏せて、寝たふりをしてください。

ドーブル
しっほがんで
えかポケモン
スケッチ

ぬりかえる
次の出題者を指差して指定する(順番が変わる)

●ドーブル(ぬりかえる)
出題者として自分を選んでよいが、出題者はカードを取れないので、たぶんメリットはないです。

ニャース
ひたいにこぼん
びげなポケモン
ネコにこぼん

ものひろい
誰かがゲットしたカードを1枚奪える(どれでもOK)

●ニャース(ものひろい)
誰か1人から、自由に選んで1枚奪えます。(★カードもOK)

コノヨザル
びたのはな
ふんどさるポケモン
ふんどのこぼし

あばれる
あなたは場をかき混ぜる

●コノヨザル(あばれる)
カードを取った人が、場をかき混ぜる。(カードは重ならないようにする)

メタグロス
よつこのうみそ
てつあしポケモン
ハレットパンチ

けいさんする
点数がいちばん高い人から、カードを1枚奪える(★付きカード以外)

●メタグロス(けいさんする)
自分の得点がいちばん高いなら、カードはそのままです。(いちばん高い人が何人かいる場合は、ジャンケンで決めてください)

レックウザ
オンソウとらふ
てんくろポケモン
ガリウのデンセイ

あれくるう
あなたは場をかき混ぜるその後、場のカード2枚を裏返す

●レックウザ(あれくるう)
カードを取った人が、場をかき混ぜる。その後、2枚のカードを裏返す。(お手つきに注意)

ワッカネズミ
いつもにひき
カッパルポケモン
ダブルアタック

わけあう
誰か1人を選び、お互いがゲットしたカードを裏にして混ぜて、自分から交互に分けてよい

●ワッカネズミ(わけあう)
誰か1人を選び、お互いがゲットしたカードを混ぜて切り、裏向きに自分から1枚ずつ交互に分ける。自分が不利なら、この効果は発動させなくてもよい。(ほかの人がカードを持っていない場合は、分け合いはない)

フーバ
リングがたつ
いたげんホール
いじげんホール

いたずら
全員から、ゲットしているカードをランダムに1枚ずつ奪う

●フーバ(いたずら)
ババ抜きのように、裏からランダムに取るということです。



※画像はイメージです。